

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引き上げについて、事業活動を通じて得られた収益を従業員へ分配、還元に取り組むとともに、教育訓練等については、成長の原動力は「人財」とであると認識し、持続的成長のために、女性、外国籍、様々なキャリアを持つ中途採用者など、多様な人財の確保に取り組んでいます。そのうえで、多様な人財が、いきいきと働けるように、「すべてのファンタジーピープルが仕事もあそびも夢中になれる会社」を長期目標とし、「ダイバーシティの推進」、「えがおを支える専門人財の育成」、「意欲ある人が自ら成長していける仕組みづくり」に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【令和6年3月22日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/55158-19-00-chiba.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社サステナビリティ方針に則り、ステークホルダーの皆さまから信頼され、サプライチェーン全体での持続的な共存協栄を目指します。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和6年4月14日

株式会社イオンファンタジー

代表取締役社長 藤原 徳也

法人名

役職・氏名（代表権を有する者）